

# がんばります！ 与野党逆転 今年こそ！



多くの市民の皆さんから、「アベさんの横暴にはこりこり。早く辞めさせて！」との声をいただきます。今年春の県政を巡る政治戦は、7月の国政選挙につながり、アベ退陣をかなえる重大な闘いです。そして、新潟県や上越市だけでなく、暴走政治で危機に瀕しているこの国を根底から救えるかどうか問われる政治戦です。

憲法を守り、消費税増税と原発再稼働をストップさせる、その実現めざして、持てる力をすべてつくしてがんばります。 <ひららぎ哲也>

日本共産党上越地区委員長  
日本共産党上越市議員団副団長

上野 公悦



昨年は県知事選挙や県議補欠選挙で大変お世話になりました。新年も春早々、県政を左右する政治戦があり、夏には参院選と続きます。何としてもこれまで皆さんと力合わせ築いてきた政治は変えられないという流れを本物にしたいですね。先頭にたって頑張ります。

日本共産党上越市議員団長

橋爪 法一



今年の上越からも県議会に日本共産党の議員を送り込んでいただきたいですね。県政だけでなく市政も変わるはずですよ。議員団ニュースは昨年、600号に到達しました。市民の皆さんの声を市政に届ける議員団の便りとして充実させていただきます。

日本共産党上越市議員団幹事長

橋本 正幸



昨年、一番うれしかったのは三和区の産廃が片付けられたことです。年金は減るのに暮らしの負担は大きくなるばかり。どこへ行っても「何とかして」と訴えられます。国保税や介護保険料の引き下げめざして頑張ります。

## 写真で振り返る2018年



上は三和区払沢。下は板倉区

2018年も災害の年でした。地震被害こそなかったものの、大雪、干ばつ、大雨と続きました。日本共産党議員団も現地調査や個別要求実現のために奮闘しました。

大雪で混乱した直江津駅



三和の産廃は全面撤去。写真は橋本市議。



干ばつ対策を申し入れる市議団と平良木前市議



「核廃絶にむけた意見書」が上越市議会において初めて全会一致で採択。委員会で趣旨説明をした新潟県原発被害者の会の会長、山内悦子さんの話が感動を呼びました。



「なくそテ原発2018柏崎大集会」。今回も『再稼働を許さず廃炉へ』の決意がみなぎる集会に。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.618 2019年1月6日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)